

低床エアージャッキ 2トン

取扱説明書

【品番】AJ-3

この度は「低床エアージャッキ 2トン(AJ-3)」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

- * 本書を必ず最後までお読みいただき、商品を正しく安全にお取り扱いください。
- * 本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。



コバヤシデンソー株式会社

〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂 1415-3

(M A I L) info@kikaiya.com

■はじめに

- 商品が到着しましたら7日以内に開封して中身/動作をご確認ください。
付属品の欠品、破損、初期不良等がございましたらすぐに販売店にご連絡ください。
- 本製品を本来の用途以外には使用しないでください。また、改造はしないでください。
- 改造により故障及び損傷した場合は保証対象外となりますのでご注意ください。
- 調査を依頼される際の送料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

- 本書記載の内容は製品改良のため予告なく変更される場合があります、お届けした製品と本書記載の内容に一部相違がある場合がございます。
- 本書記載の内容に反する取り扱いを行ったことにより生じた損害に関して、弊社または販売店は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■製品使用上のご注意

警告

- このジャッキは自動車の整備専用です。自動車を持ち上げたまま移動させないでください。
- ジャッキアップする時は必ず自動車メーカーが指定したジャッキポイントで上昇させてください。
- 自動車を上昇させた後、作業を始める前には必ず適切な位置へジャッキスタンドを設置し、荷重を受けてください。作業中も常にスタンドを使用してください。
ジャッキアップした状態では自動車の下に入らないでください。
- 能力以上の荷重を絶対にかけないでください。重量オーバーはジャッキの破損や重大な事故を起こす可能性があります。
- ジャッキは水平なコンクリートなど固い床の上でお使いください。水平でない場所や軟弱な土間の上などでは絶対に使用しないでください。転倒する恐れがあります。
- 荷重は受け金のセンター(中心)で受けてください。受け金のサイドなどでは荷重を受けないでください。受け金がジャッキポイントから外れたり、ジャッキが破損したりする恐れがあります。
- ジャッキを使う前にこの取り扱い説明書をよく読んで理解してお使いください。よく理解しないままジャッキを使うと十分な性能を発揮できない上、ジャッキの破損や重大な事故がおこる可能性があります。

■ご確認ください

- 本品は出荷前の検品で作動確認を行っております。
そのため開封痕がありますのでご了承ください。
- ジャッキの組み立て後、シルバーの丸棒(画像参照)が余りますが、これは梱包時にハンドル受け金具を固定するための物ですので、実際に使用する際には不要となります。

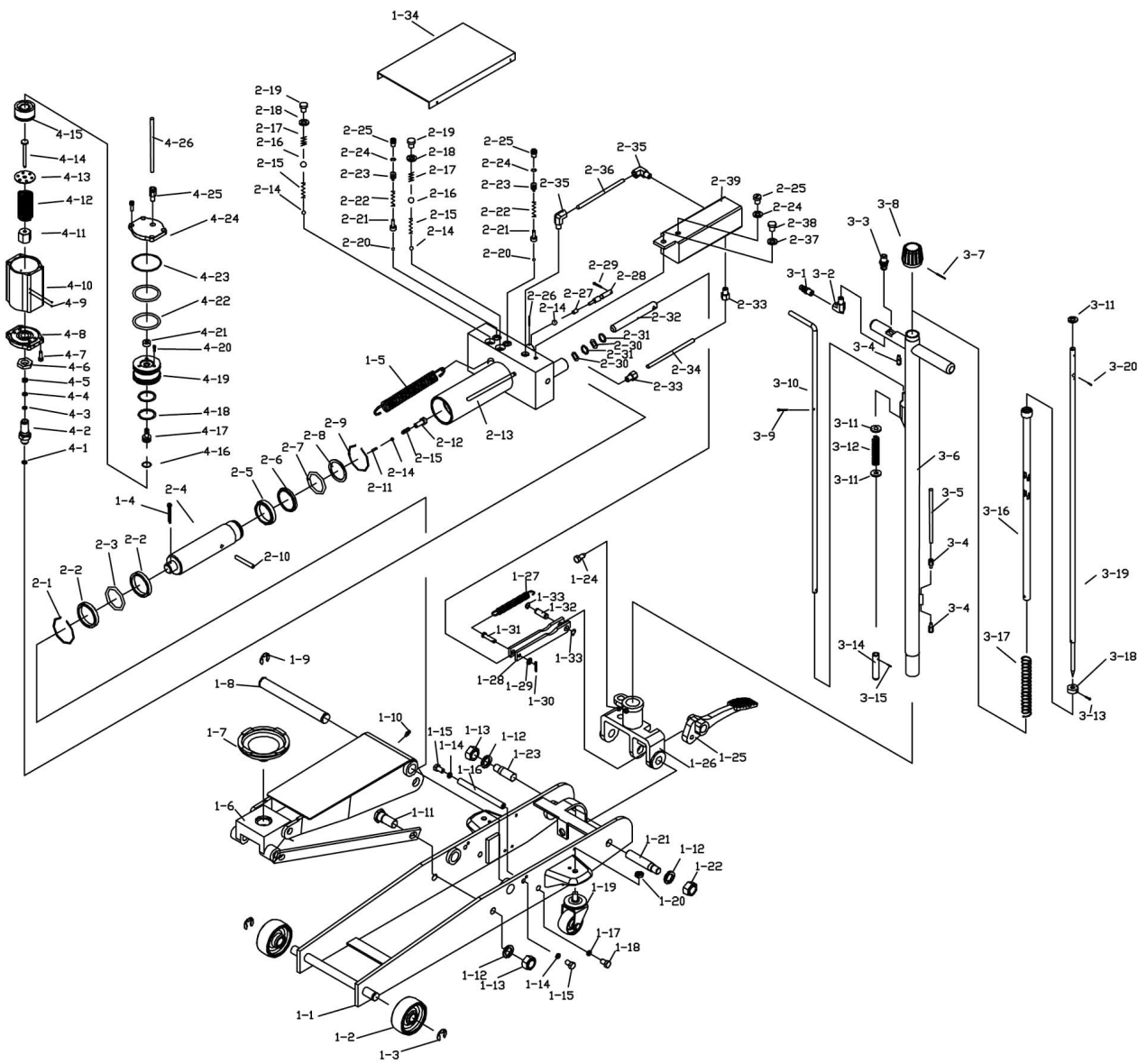


■製品仕様

本体重量	58kg
能力	2トン
受け金高さ	最低 98mm～最高 505mm
全長	962mm
全幅	280mm
フレーム高さ	12cm
使用エア圧力	7～13 キロ

※製品改良のため、仕様は予告なく変更される場合があります。

■ パーツリスト



Item No.	Description	QTY	Item No.	Description	QTY	Item No.	Description	QTY
1-1	frame	1	2-7	o-ring	1	3-8	release knob	1
1-2	front wheel	2	2-8	washer	1	3-9	pin	1
1-3	snap ring	2	2-9	snap ring	1	3-10	control rod	1
1-4	pin	1	2-10	pin	1	3-11	washer	3
1-5	spring	1	2-11	nail	1	3-12	spring	1
1-6	lifting arm ass'y	1	2-12	screw	2	3-13	screw	1
1-7	saddle	1	2-13	oil cylinder ass'y	1	3-14	rod joint	1
1-8	shaft	1	2-14	Φ6 steel ball	4	3-15	pin	1
1-9	snap ring	2	2-15	spring	3	3-16	universal joint ass'y	1
1-10	grease nipple	1	2-16	Φ9 steel ball	2	3-17	spring	1
1-11	bolt	2	2-17	spring	2	3-18	washer	1
1-12	lock washer	4	2-18	copper washer	2	3-19	convey rod	1
1-13	nut	3	2-19	screw	2	3-20	pin	1
1-14	lock washer	2	2-20	Φ4 steel ball	2	4-1	copper washer	1
1-15	bolt	2	2-21	ball seat	2	4-2	pump cylinder	1
1-16	shaft	1	2-22	spring	2	4-3	oil seal	1
1-17	lock washer	2	2-23	screw	2	4-4	washer	1
1-18	bolt	2	2-24	sealing washer	3	4-5	copper washer	1
1-19	rear wheel	2	2-25	screw	3	4-6	nut	1
1-20	locknut	2	2-26	pin	1	4-7	screw	8
1-21	shaft	1	2-27	ring	1	4-8	front cover	1
1-22	nut	1	2-28	release valve rod	1	4-9	steel ball	1
1-23	shaft	1	2-29	pin	1	4-10	air pump housing	1
1-24	screw	1	2-30	o-ring	2	4-11	nut	1
1-25	pedal	1	2-31	nylon gasket	2	4-12	spring	1
1-26	handle socket	1	2-32	pump plunger	1	4-13	washer	1
1-27	spring	1	2-33	joint	1	4-14	cylinder pump plunger	1
1-28	connection bar	2	2-34	oil hose	1	4-15	piston body A	1
1-29	washer	1	2-35	joint	3	4-16	o-ring	1
1-30	pin	1	2-36	oil hose	1	4-17	air release rod	1
1-31	pin	1	2-37	lock washer	1	4-18	o-ring	2
1-32	pin	1	2-38	nut	1	4-19	piston body B	1
1-33	snap ring	2	2-39	oil reservoir	1	4-20	screw	3
1-34	cover board	1	3-1	quick coupler	1	4-21	air seal	1
2-1	snap ring	1	3-2	joint	1	4-22	o-ring	2
2-2	washer	2	3-3	air valve	1	4-23	o-ring	1
2-3	o-ring	1	3-4	quick coupler	3	4-24	rear cover	1
2-4	piston rod	1	3-5	air hose	1	4-25	joint	1
2-5	piston ring	1	3-6	handle ass'y	1	4-26	air hose	1
2-6	sealing washer	1	3-7	pin	1			

■組み立て

【ハンドルの取り付け】

1. ハンドルソケットとボルトにルーセンを塗ります。
2. ハンドルをハンドルソケットに差し込みます。
3. 固くボルトを締めます。
4. エアーホースを接続してエアーカプラを取り付けます。

■使用方法

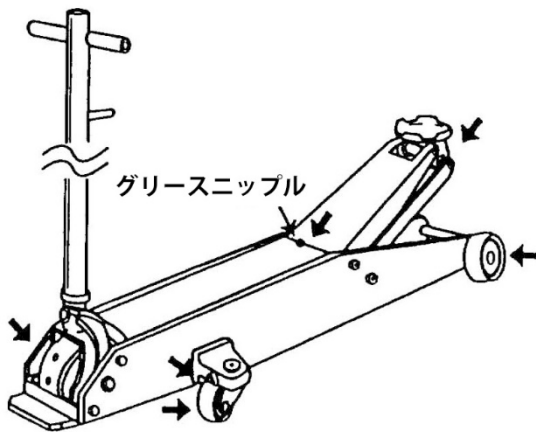
1. エアーカプラを接続します。エアーは乾燥した(水分が含まれていない)圧力8~13キロでお使いください。
2. リリースノブ(3-8)を反時計回りに緩めておいてください。
3. ジャッキを自動車のジャッキポイントにセットします。ジャッキは車に対して斜めに入れしないでください。反対側のタイヤには輪止めをかけ、駐車ブレーキをかけるか、Pレンジにしてください。
4. リリースノブを時計回りに閉めます。手動ポンプまたはエアーバルブを開いてジャッキを上昇させ、受け金具が自動車に当たるところで止めます。ジャッキポイントに確実に当たっているか確認してください。確実に受けている事を確認できたらジャッキを上昇させてください。上昇中にジャッキの車輪が動いていないか注意深く観察すること。異常がある場合は使用を中止してください。
5. 自動車が上昇したらジャッキスタンドをセットしてください。スタンドをセットした後ゆっくりと少しだけリリースノブを緩めて、スタンドの上に自動車を乗せてください。

※ジャッキは上昇・下降させるためのもので、その荷重を長時間保持するものではありません。

■メンテナンス

ジャッキは常に清潔を保ち、泥やほこり・オイルなどが付着した場合は拭き取って保管してください。ジャッキを降雨の中で使用したり水をかけたりしないようにしてください。

- ジャッキは屋内で保管してください。屋外や湿気・ほこりの多いところには置かないでください。
- ジャッキの可動部には定期的(月1回)にマシンオイルを給油したり動かしたりしてください。
- 3ヶ月に一度はグリースニップルよりグリスを注入してください。
- パッキン交換時や作動油に水分が混入した時、または必要に応じて作動油(ハイドロリックオイル ISO VG 10) の交換を行ってください。
- エアーポンプを潤滑する為に最低1ヶ月に一度はエアーカプラよりスピンドルオイルを2~3滴注入してください。潤滑が切れるとエアーポンプが動かなくなる事があります。
- ジャッキを使用する前には下記の箇所を点検してください。



- ・シリンダーやハウジングのヒビ割れ
- ・キャスターや可動部の給油
- ・ボデーの曲がり・溶接箇所の状況
- ・ボルト・ネジの緩み
- ・作動油の漏れの有無
- ・ピストンロッドの錆や腐食

■エアー抜き

輸送後や修理後・作動油が不足した時はシリンダーにエアーを噛む事があります。

エアー噛みすると動きが遅くなったりシリンダーがフワフワしたりしますので、下記要領でエアーを抜いてください。

【手動ポンプのエアー抜き手順】

1. リリースバルブを開放します。
2. ペダルを10回程度踏みます。
3. リリースバルブを閉めてペダルを踏みます。


※エアーが抜けていないようであれば1~3の手順を繰り返してください。

【エアープンプのエア抜き手順】

1. リリースバルブを開放します。
2. エアープンプを20秒程度動かします。次にリリースバルブを閉めてください。
3. エアープンプを動かして最高部まで上昇させます。
4. リリースバルブを開放してジャッキを最低部まで下げます。

※エアが抜けていないようであれば1～4の手順を繰り返してください。

■トラブルシューティング

故障状況	原因	処置方法
ジャッキが上昇しない	オイルが不足している	作動油を補充する
	エアが噛んでいる	エア抜きを行う
	許容荷重を超えている	適合するジャッキを使う
	バルブ・チェック弁の不良	バルブの清掃または交換
	シリンダーの不良	パッキン交換及び作動油の交換
	エア漏れまたは圧力不足	圧力 8～13 キロを確認する
手動で上昇するがエアで上昇しない	エアが噛んでいる	動画の手順でエア抜きを行う  https://youtu.be/s5TpHjO3I14 (YouTube を開きます)
	エアープンプ不良	エアープンプの交換
上昇スピードが遅い	ポンプの不良	ポンプの交換
	シリンダーパッキンの不良	シリンダーパッキンの交換
ジャッキが自然降下する	シリンダーパッキンの不良	シリンダーパッキンの交換
	バルブ・チェック弁の不良	バルブの清掃または交換
	エアが噛んでいる	エア抜きを行う
オイル漏れ	パッキンの不良	シールキットを交換する
エアープンプが動かない	エア圧力の不足	圧力 8～13 キロを確認する
	エアピストンの不良	給油するまたは分解・パッキン交換